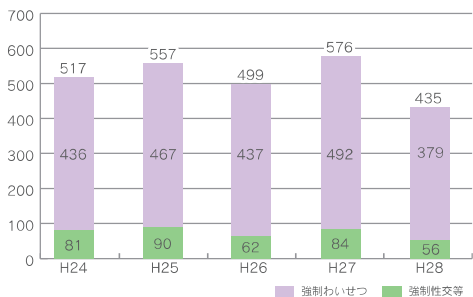


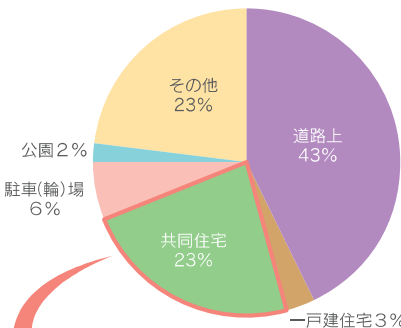
福岡県の性犯罪被害の現状について

福岡県の性犯罪認知件数の推移



- 性犯罪（強制性交等、強制わいせつ）は500件前後と全国的に見ても高水準で推移しています。
- 性犯罪は被害の特性上、表に現れにくいことから、実際の被害はもっと多いものと考えられます。

場所別にみた被害の現状（H28）



※一戸建住宅及び共同住宅での被害は、住居部分等での屋内被害と共用通路等での屋外被害を含みます。

共同住宅での被害は全体の23%

- ・中高層（4階建以上）住宅 …………… 12%
- ・その他の住宅 …………… 11%

防犯設備に関するお問合せ

NPO法人福岡県防犯設備士協会
TEL 092-718-3990

NPO法人福岡県防犯設備士協会は、県民が安全で安心して住めるまちづくりに貢献する目的で設立された組織で、防犯設備に関する相談を受け付けています。

・防犯ベル・防犯カメラ・錠前・電気錠設備・防犯ガラス・防犯フィルム・インターホン・非常通報機・入退室管理機器・門扉・セキュリティゲート etc…

リフォームで防犯性能を高めましょう!



防犯性能の高い建物部品

住宅への侵入を防止するため、一定の防犯性能があると評価されたドア・錠・ガラス・サッシ・ウィンドウフィルムなどの建物部

品の目録が掲載されています。詳しくは、全国防犯協会連合会ホームページ (<http://www.cp-bohan.jp>) をご覧ください。

セキュリティ・アパート認定制度を利用しませんか?

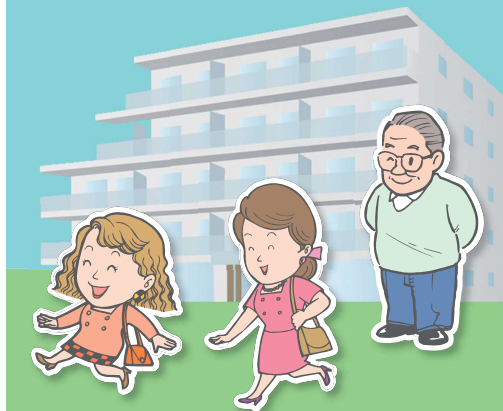
住宅への侵入を伴う性犯罪等の犯罪防止と入居者の犯罪不安などを解消することを目的に、アパートやマンションなどの賃貸集合住宅を対象に防犯に関する基準を定め、一定基準を満たした物件を認定する制度です。(NPO法人福岡県防犯設備士協会/後援: 福岡県、福岡県警察、福岡市、北九州市)

認定プレートを屋外に掲示することで、被害リスクの軽減や社会の防犯ニーズに対応した住宅としてアピールができます。(認定申請等には費用がかかります。詳しくはホームページ (<http://www.fukuoka-bosetsukyo.jp>) をご覧ください。)



入居者を性犯罪から守るために

共同住宅管理者向け



管理者のあなたに知っておいてほしい防犯対策のポイント



入居者の安全を守りましょう!

警察が認知した福岡県内における性犯罪（強制性交等、強制わいせつ）の件数は、全国的に見ても高水準で推移しています。

性犯罪から入居者を守るためには、犯罪が起きにくい住環境を確保することが重要です。

共同住宅における住宅の防犯性を向上させ、入居者が安心して生活できるよう被害の予防に努めていきましょう。

共同住宅での被害例

エレベーターで
乗り合わせた男性に背後から抱きつかれた。

エントランス
住人の振りをして建物内に侵入し、鍵の掛かっている玄関等を探し、侵入された。

バルコニー
配管・塀等を足場にして上層階に侵入された。

